

「子どもにも優しい社会を」

岩切たつや

県議会便り

2017年7月

発行

県議 岩切たつや

住所

宮崎市生目台東
1丁目6-8

電話0985-89-5158

fax 0985-86-8778



の抑止は虐待予防と、健やかな育成に有効である。」と認識を示したうえで「体罰によらない育児を推進したい。」と取り組む姿勢を示していただきました。

息の長い取り組みを目指して

北欧では1980年前後から体罰を禁止し、現在、若者による暴行や窃盗等犯罪が減少し、自殺やドラッグの使用も減少したということです。世界では50力国以上が全面的に体罰を禁止しています。日本では戦前の軍国教育から、「体に教える」とか「叩いてしつけるべき」という体罰美化、加害者擁護の文化が生まれました。

「愛の鞭ゼロ作戦」は、体罰を伴わないしつけの仕方を学ぶことなどしていくことで、虐待のない社会、暴力の連鎖を断ち切る社会を目指しており、社会を変える力を持つ取り組みです。

一般質問に登壇
県政に対する思い、福祉や教育の現場の思いを乗せて、質問し、県の対応を求めました。皆さまの県政に対するご意見、ご要望をお聞かせください。

この春から、総務政策常任委員会副委員長に就任しました。頑張ります。

子ども虐待にストップを

虐待の連鎖を止める「愛の鞭ゼロ作戦」

たたく、つねる、しばる。大人に行えば犯罪となるこれらの行為が、子どもに対しては「しつけ」「愛の鞭」ということで許されることがあります。実は体罰は、子どもの身も心も傷つけ、大きなダメージを与えてしまうという研究成果が明らかになりました。私は、6月議会一般質問に登壇し、虐待防止を効果的に推進するために、厚生労働省が発表した「愛の鞭ゼロ作戦」を、宮崎県でもさっそく取り組んでいくよう強く求めました。

昨年度の虐待件数が、また過り、一般質問で取り上げました。去最高と報道されています。どうしたら虐待をなくすことができるか、常々考えていたところ、厚生労働省が「愛の鞭ゼロ作戦」を打ち出したことを知

連鎖する子育て技術

私たちの社会には「しつけのためなら体罰はときには必要」と、体罰を肯定する意見が根強く残っています。

私は児童相談所勤務時代、虐待してしまった親から「しつけでやったんだ」という発言を何度も聞かされました。そして「私も叩かれて育った」と。だから叩くというわけです。自分にされた子育ての仕方を、自分が行う子育ての手にしていき、まさに虐待が連鎖していったのです。

叩いたり怒鳴ったりして行われるしつけ、恐怖による子どものコントロールは、一見、



6月議会で、一般質問を行いました。

手話言語条例、制定に向けて動き出す

同じく一般質問で、手話言語条例の制定について知事に質問しました。

聴覚障害者にとって手話は、手や指を使って言葉を組み立て、コミュニケーションを図る、まさに言語です。日本語を国語として小中高校で学ぶ授業時間がありますが、聴覚支援学校では日常、手話を使用しています。正規教科として手話を学ぶ授業はありません。

ありがとうございます



これまでに、国連障害者権利条約や、日本においても障害者基本法に「言語に手話を含む」ことが明記されていますが、そのような実情にあります。手話言語条例の制定で、

動き出す

県全体で手話を使用しやすい環境整備として、地域や学校、企業における手話学習の推進はもとより、聴覚支援学校で手話で学ぶ手話教育の推進、手話通訳者・指導者の養成や設置の拡充等、共生社会の基盤整備が進められます。すでに13府県が条例制定しており、作業中の道県があります。

「手話を広める知事の会」に参加する河野知事は、点字や要約筆記など、幅広い情報伝達手段を盛り込むこともあわせ、障がい者団体や市町村や民間事業所との協議を始めると答弁し、手話や他の情報伝達手段を含めた条例制定の検討をしていく考えを示してくれました。



社会民主党県議会議員

岩切たつやプロフィール

昭和36年1月 延岡市生まれ

昭和54年4月県庁入庁

児童相談所、福祉事務所等に勤務

県庁職員組合委員長、延岡市立伊形小PTA

会長、宮崎県立延岡工業PTA

会長など労働運動、地域

活動に取り組む。

現在一period

家族 妻と子ども

資格 社会福祉士、宮崎県登録保育士



質問概要

子どもの未来を明るくものに

先生が児童生徒に「向き合う時間をもっと確保して」

【問】美しい宮崎づくり条例が制定された。道路の草刈り回数、観光地の修景維持などどう取り組むか。子どもが怪我するおそれのある外来植物「メリケントキンソウ」への対応は。

【答】美しい宮崎を守り、新しいゆたかさを実現するための条例である。次世代に引き継ぎたい。観光地の景観は今年策定する推進計画の中に関係団体の意見を反映する。道路草刈りは回数を見直しを行うなどメリハリをつけていく。危険な外来植物などは広報し注意喚起していく。5〜6月に堅いトゲを持つ種ができる「メリケントキンソウ」の駆除を市町村に要請していく。

【問】高齢者虐待の対応、成年後見制度の市町村長申し立ての現状は。また、有料老人ホームなど入所施設の第三者評価の受審を勧めるべきではないか。

【答】虐待対応は市町村が担っている。県では弁護士、社会福祉士からなる高齢者虐待対応専門チームを市町村の求めに応じて派遣している。昨年度、成年後見制度を市町村長が申し立てし



「メリケントキンソウ」は、公園、空き地、芝生などの明るい場所に生育します。時期は5月から6月の間に、トゲを持つ硬い種子を結実します。初夏のすがすがしい気候のなか、芝生に手を触れたり、子供たちが裸足で芝生を駆け回ったりしたとき、硬いトゲが刺さってしまう恐れが指摘されています。

たのは100件。選任までの支援も行っている。また、入所施設の第三者評価は、受審した施設に受審マークを配布。ただし有料老人ホームは別に事業者団体独自の評価事業が行われると聞いている。

【問】学校職員の長時間労働が問題となっている。現状認識は。病気で休んでいる方は何人？

【答】「働きやすい環境づくりプログラム」を策定し取り組んでいる。業務量の多さ、部活動の負担、家庭ですべき教育内容まで学校に求められることなど課題を認識している。スクールソーシャルワーカーを配置し、専門家の力を活用するなど、教職員が児童生徒に向き合い、本来の教育活動に専念できるよう環境づくりをしたい。なお、病気休職者は114人、うち精神疾患による休職者は66人となっている。

【問】普通科高校の課外授業は生徒にも教師にも負担になっていないか。

【答】課外授業が生徒や教員にとって過度の負担とならないよう、様々な改善をしてきているが、今後も機会毎に学校に呼びかけていきたい。

*朝課外、夕課外、それから塾、たぐさんの宿題・・・眠る時間は大丈夫なのか。成果は出ているか。昔からある問題です。しっかりと検証して見直すべき時です。

【問】食物アレルギーを有する子ども達に給食を提供している保育所などの児童施設、小中学校などの対応は十分か伺いたい。

【答】アレルギーを有する子どもは年々増加傾向にある。健康や命にも関わる問題と認識し、調理職員や教員の研修を取り組んでいる。保育士のキャリアアップ研修でも取り組み、栄養士が食物アレルギー対応している施設への運営費加算などを行っている。

【問】子どもの予防接種の中で、保護者が自己負担しているロタウイルス、おたふくかぜに対する助成が市町村毎に異なる。県としての対応は。

【答】任意の予防接種であるロタウイルス予防接種には県内15市町村で、おたふくかぜは県内18市町村で、その負担に対する助成をしている。県は助成を行う市町村に補助を行っており、毎年積極的に補助の活用を働きかけている。また、国には自己負担のない定期接種に位置づけるよう要望している。

*市町村によっては、経済的問題から予防接種を受けられずにいる子どもがいるのではと心配です。ちなみに宮崎市ではロタウイルスについて21,000円、おたふくかぜには5,000円の助成がありま

す。詳細は市役所にご確認ください。



- 【6月議会の議案】
- ◆一般会計補正予算 2億7,713万5千円
 - ◆公営企業会計補正予算 2,790万円
 - ◆宮崎県がん対策推進条例の一部を改正する条例ほか2件の改正
 - ◆工事請負契約の変更3件、公安委員会委員などの任命承認などの請願など1件の請願審査
 - ◆子ども医療費無料化を中学校卒業まで引き上げることを求める請願など1件の請願審査
 - ◆地方財政の充実・強化を求める意見書ほか3本の意見書採択



青年開発隊入隊式でのご挨拶



共謀罪反対の集会

↑会派視察 (近畿・四国の農産品)

ブロック塀の耐震化

地震の際にブロック塀が倒れて下敷きになり、命を落とされたり怪我をされたりする例があります。昨年4月に発生した熊本地震でも、29歳の若い命がブロック塀倒壊の犠牲になりました。一見頑丈に見えるブロック塀ですが、倒壊すれば凶器になります。道路を歩行中の方が、地震に遭うと、反射的にブロック塀に身を寄せたまま倒壊してしまうことが多いそうです。結果として犠牲になってしまおうという残念なことが起きています。

また倒壊したブロック塀が、救急車両や救援車両の行く手を塞いだり、逃げる際の邪魔にもなります。

ブロック塀の所有者は、一定以上の耐震構造にない状態で放置していた場合、その倒壊で発生した物的人的損害について、賠償責任を負うことがあるとのこと。いま、県には、市町村を窓口にした住宅の耐震化を促進する助成制度があります。住宅の点検と同時にブロック塀が建築基準が求める耐震構造にあるか点検をおすすめします。今回の一般質問に「ブロック塀の震災対応」について取り上げたところ、県はいっそうの啓発に取り組むとの答弁がありました。



